三田土争議始末

退職手当問題ニ付交渉

大正一〇、一二、九、午后電話ニテ聞取如左

1、自己ノ都合ニヨリ退職スルモノソノ数約二十名アリ

2、内二名ハ前解決案ニ拠リ最高二十日分ヲ支給スルモ
他ノ者ハ十三日分乃至十五日分ニ過キス

3、解決当時社長ハ「同業者ノ方ハ継続ニ非サル限リ二十日分ヲ支給スヘシ」ト言明セルニ今ヤ「カ様ノコトハ
言ヒシ覚エナシ」ト称シツヽアリトノ事ニテ
大体ニ於テハ食言ナリトテ強硬ニ余社ヘ交渉中ナリトイフ